

hamamatsu monodukuri

浜松ものづくりマイスター

平成29年度 浜松ものづくりマイスター認定者

株式会社ソミック石川 三輪 政春 氏

専門相談対応分野「治具部品の加工」

治具部品とは？

金属の加工や組み立てに使われる設備機械の部品となるもの。構造鋼の特性を熟知して、使用目的、形状、硬度を考えて試作を繰り返し、完成させます。鉄系材料の特性を最大限に生かしてミクロンレベル(1/1000ミリの精度)で加工する技能が必要なものもあります。

相談対応内容

●普通旋盤・フライス盤・ボール盤・平面研磨機・NC旋盤などの加工方法、刃具選定、切削条件の注意点ほか、作業方法と使用する測定器の基本知識・技能の指導

会社の事業概要

大正5年創業。ボールジョイントとダンパーを主力製品にもつ、自動車部品の開発型製造メーカーです。「ボールジョイント」は、クルマのハンドル操作を正確にタイヤに伝えたり、走行時の安定性を高めたりするために不可欠な部品です。「ダンパー」は急激な動作を制御して衝撃を和らげる製品で、例えばクルマのシートが起き上がる速度を抑制し、安全性と高級感をもたらします。いずれもトヨタ自動車株式会社、スズキ株式会社、富士重工業株式会社などの大手自動車メーカーが、同社の部品を採用しています。

三輪さんの業務内容

三輪さんは、ソミック石川の製造設備の治具加工、内製設備の部品加工に通算43年従事する、切削・組付治具づくりに欠かせない職人です。機械設計者の図面の通りに、治具を、早く正確に作ることが基本ですが、設備のことはもちろん製品のこともよく理解し、要求される治具がどのように使われるかを意見交換した上で、最適なものを提案しています。



マイスター Profile ～資格・実績・受賞 等～

- 普通旋盤1級(円筒の内外径偏芯加工の雌雄合わせ治具加工)
- NC旋盤3級(円筒の量産物加工物の加工・精度向上)
- 油圧調整2級(機械の油圧制御ユニット・機械の芯だし)
- 職業訓練指導員

受賞歴／浜松機械金属技能競技大会(平成8年度)
旋盤作業 最優秀賞





株式会社ソミック石川 三輪 政春 氏

所在地 浜松市南区古川町500

HP <http://www.somic.co.jp/>

◎1958年

浜松市生まれ

◎1974年

浜松機械訓練校卒業

◎1974年

株式会社ソミック石川 入社
浜松北高等学校 定時制課程(4年)

私は入社してまず生産設備のオーバーホール担当として、機械の修理、補修部品加工に携わりました。その後、加工担当となり、治具製作することで旋盤技術を修得。社内のあらゆる機械の治具づくりに対応できるよう、フライス盤、ボール盤、研磨などの操作を覚えたことで、一つ一つの治具が果たす役割や重要性を理解しました。

治具は生産設備の一部品ですが、その実用性や耐久性の高さが、製品の品質や低コスト化、生産性の向上に大きく貢献するものです。図面通りに作るだけでなく、試作品をもとに、これまでの経験、勘から治具の材質や加工の仕方を試行錯誤します。独自の創意工夫で、従来の工法を革新できることが大きなやりがいです。

「安全な作業は作業の入口」「基本なくして応用なし」の2つを常に肝に銘じています。安全第一かつ基本に忠実に、そしてあらゆる挑戦を惜しまない姿勢を大切にしています。今後は、自分の身に付けた技能を若手に伝承していきたいです。社内だけでなく、浜松のものづくりが一層元気になってほしいと思います。

しごとの相棒

設備の治具製作には、刃具と旋盤などの工作機械を使います。刃具は用途に合わせて10種類ほどあり、加工する材質や加工の仕方により選びます。研ぎ直して刃の角度を微妙に調整するなど、オリジナルの道具に加工しています。



プロフェッショナルの視点

設備の治具部品には、高い精度の寸法で、製品が直接触れるため表面のきめ細かさ、しかも対応の早さが求められます。長年の経験と勘、技術、創意工夫を、コスト削減に貢献する工法や、高度に洗練された生産方法の開発などに役立てています。



仕事の手応え／喜び／やりがい



社内の生産現場から「設備の不具合が生じたので早急に治具を作り直してほしい」という要求があります。時には「図面なしで実物通りに」という難易度の高いものもありますが、要望をくみながら短時間で対応することで、現場スタッフに喜ばれることがやりがいです。

プロになる方法

創造力をもって挑戦し、失敗からいかに多くのことを学べるかが大切です。どんな些細なことでも、自分が携わる仕事を好きになることで、道を究められると思います。